



学校だより

# とき・あかし錦城

2021年(令和3年)  
1月18日(月)(第68号)  
明石市立錦城中学校

## 阪神・淡路大震災から26年

…… 忘れないように 忘れないために ……

学校長 永田 浩史 (ながた ひろし)



1年前の学校だよりを読み返すと、見出しには「四半世紀前の出来事になりました」の文字。そこから1年たった1月17日の神戸新聞1面の見出しには、「都市の活力向上課題に」― 人口、経済格差広がるという ― 文字があります。被災地の復興事業はほぼ終了したが、格差が広がり、合わせて新型コロナウイルスの影響で新たな課題が立ち上がり、都市の活力をどう向上させていくかが問われていると続きます。同じ紙面には「コロナ入院待ち県内679人」の文字。感染された方、その家族や周辺の人たちの不安が胸をよぎります。

16日の夜、神戸新聞の川崎記者に錦江幼稚園と西明石にある仮設住宅跡地の「はなぞの広場」の追悼式を教えてくださいました。17日の朝、あの日を忘れないために街の様子を見てみようと思いを走らせました。大蔵海岸の横を歩いていた時に目にしたのは、天文科学館の大きな時計。まだ暗い夜の底に白い文字ではっきりと時を告げている丸い時計がくっきりと見えました。何だか力をもらったような気持ちになり、写真を一枚。少し遠くてピンボケになり、山電丸駅に向かい、天文科学館近くでもう一枚。時刻はすでに5時51分。5時46分から針は進んで動いていました。

26年前の暗闇の中で大惨事が発生したあの日。あの時間。「忘れないように、忘れないために」を考えた時間でした。

その後、錦江幼稚園の横を通ってみると、園庭には“小さな焚火”が燃やされ、柔らかな炎が揺れていました。ここにも忘れない、忘れないために集う人が。

舞子駅に向かう舞子多聞線、国道2号線、大蔵海岸近くの道、早朝から車を走らせる人、ランニング、散歩、日曜にもかかわらず出勤を急ぐ人たちがいます。

27年目に向かって更なる一步を、更なる一日を進めていきましょう。



▲2021.1.17 天文科学館

◆◆◆ 表彰 ◆◆◆

第23回兵庫県中学生(U-13)サッカー選手権大会明石予選【サッカー部】 第3位



# 悼

トウ・いたむ  
●↑(こころ)と、音を表す卓(タクトウ)(ゆさぶる意)とからなり、心をゆさぶる意味を表す。ひいて、いたむの意味に用いる。

木守柿メジロ啄ばむ朝餉かな

## ひょうご安全の日宣言

阪神・淡路大震災から26年経(た)った  
 私たちは国内だけでなく 世界の多くの人たちにも  
 この震災の教訓を知ってもらいたい 活(い)かしてもらいたい  
 そのように願って 伝え続けてきた  
 この震災に加えて 平成の時代に  
 北海道南西沖地震をはじめとして新潟県中越地震  
 東日本大震災そして熊本地震など  
 地震だけでも10を超える災害を経験し  
 多くの教訓を得ることができた  
 それらの教訓を活かした対策を一層進め  
 南海トラフ地震 首都直下型地震等の  
 国難災害の減災を目指そうとした  
 その矢先に 新型コロナウイルスによる  
 感染症拡大が発生した  
 クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号での  
 集団感染は衝撃であった  
 気がついてみると 様々な感染経路から全国的なひろがりとなり  
 同時にパンデミックとして 世界で猛威を振るうようになった  
 その心配の中で 7月に熊本県を中心に 豪雨災害が発生した  
 それは 感染症拡大の脅威下 複合災害となり  
 避難所の運営やボランティア活動も制約を受け  
 新たな課題や教訓が加わった  
 そして パンデミックの次なる襲来が心配だ  
 忘れない 伝える 活かす 備える 阪神・淡路大震災の教訓を  
 震災の教訓は すべての時代に通じる知恵だから

2021年1月17日 ひょうご安全の日推進県民会議

### とき・あかし68 シェイクアウト訓練 2021.1.15

1月15日(金)10:00にシェイクアウト訓練を実施しました。「備えあれば憂いなし」ですね。ご家庭でも避難経路や非常時の連絡について確認しておきましょう。

### 錦城中学校の備蓄物資確認【コミセン】

- ・アルファ化米(わかめご飯) 400食
- ・アルファ化米(白米) 100食
- ・缶詰パン 168食
- ・毛布 170枚
- ・防水シート 30枚
- ・スチールトイレ 12セット
- ・間仕切りセット 1セット
- ・車椅子対応仮設トイレセット 1セット
- ・給水用バルーン(2トン) 1セット

■いざという時のためにご家庭でも備蓄物資の点検を！

